

レクチャーコンサートとワークショップ 2023

“超入門” バッハの聴き方, 歌い方

(4声部合唱)

バッハは難しい？

「人類最高の音楽遺産」を、たのしく聴いて、やさしく歌ってみましょう

—— J. S. Bach 日本語演奏 ——

日時◆2023年5月20日(土) 開演：午後2時、終了：4時

会場◆荻窪教会(日本キリスト教団)

(〒167-0051 杉並区荻窪4丁目2-10、電話03-3398-2104、地図参照)

＜入場参加：無料、ただし予約制：先着50名＞ <後援・杉並区>

[曲目]

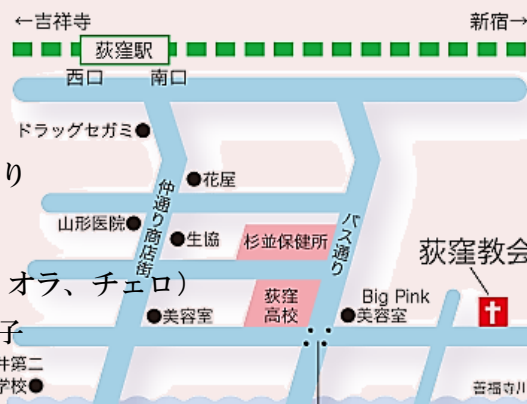
- カンタータ第12番《泣き 歎き 憂い 迷い》BWV 12より
- カンタータ第22番《イエス 十二弟子呼びて言いたもう》BWV 22より
- 昇天祭オラトリオ(カンタータ第11番)《頌めよ 神のみ国》BWV 11より

[演奏]

- 室内楽：管弦楽団ARS有志のみなさん(オーボエ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
- オルガン：田尻明葉
- 合唱：東京バッハ合唱団
- 指揮：大村恵美子

[内容]

- 1 演奏とレクチャー「初めてバッハを聴く人に向けて」(バッハって誰? / 難しい? / 教会音楽って?)
- 2 ワークショップ「簡単なバッハを、日本語で歌ってみる」(コラールは誰でも歌える)と演奏(みんなでもう一度)



[主催] 東京バッハ合唱団

- ・東京バッハ合唱団は、J.S.バッハの合唱曲専門の演奏団体として国内の草分けです(1962年創立)。2011年、杉並区・荻窪の地(荻窪教会)に練習拠点を移してから、すでに10年以上、ご近所の皆さまのご理解のなかで活動をつづけています。
- ・この5月6日に、第122回定期演奏会を開催しますが、会場がやや遠方(川口総合文化センター・リリア音楽ホール)ですので、この企画は、その日のプログラムからの抜粋を、杉並区周辺の皆さまにお届けすることも兼ねます。
- ・バッハさん(右下のおじさん)、難しそうな顔をしています、実は毎週、子どもたちに“カンタータ”を歌わせてもいたのです。その“カンタータ”って何? なかに含まれる“コラール”って何?
- ・聴くだけでなく、子どもも歌ったという「人類の音楽遺産」の一端を、声を出して、かじって(ハモって)みませんか?

[入場参加ご予約(お問い合わせ)]

メール: office@bachchor-tokyo.jp 電話: 03-3290-5731 ホームページ: http://bachchor-tokyo.jp/

(ご予約の際に必須です: ①お名前、②人数、③住所、④メールアドレスまたは電話番号)

